



10月2日は直売所の日!

JA全中定 生産振興と地域活性化さらに

直売所を地域活性化と地産地消の拠点として盛り上げるため、JA全中は10月2日を「直売所(ファーマーズマーケット)の日」に制定しました。それに先立ち9月30日には制定を記念したPRイベントを開催し、安全・安心な地元産農畜産物にこだわる直売所の魅力を発信。記念日登録証の授与式のほか、特別ゲストによるトークショー、国産食材を使った料理の実食、野菜川柳の披露などで会場は盛り上がりました。

都内で記念PRイベント
 「直売所(ファーマーズマーケット)の日」は、JA全中が日本記念日協会に申請し、登録されました。登録を記念して、



「直売所の日」制定記念PRイベントを盛り上げたJAグループ役員とゲスト出演者

9月30日、東京国際フォーラム(東京都千代田区)でPRイベントを開催。JAグループサポーターの林修先生や、JA全農チビリンピックサポーターの北澤豪さん、JA共済キャラクタ

ターの浜辺美波さん、JAバンクイメージキャラクターの松下奈緒さんが駆けつけました。イベント冒頭では、日本記念日協会の加瀬清志代表理事から記念日登録証が手渡されました。受け取ったJA全中の須藤正敏副会長は、「JAならびにJAファーマーズマーケットが地域の皆さまから必要とされる存在になるよう、生産者と力を合わせ努力してまいります」とあいさつし、記念日をきっかけとした直売所のさらなる発展を誓いました。

特別ゲストも応援

特別ゲストによる、食や直売所についてのトークショーも展開されました。林先生は、直売所で珍しい野菜に出会ったエピソードを披露。「地元ならではのおいしい農産物がたくさん並んでいて、野菜や果物について体験できる図鑑のような場所。私も子どもを連れていき、教育の場所にした」と、生産者や直売所を運営するJAにエールを送りました。

健康のために日頃から野菜を食べ、ロケの合間に直売所を訪れるという松下さんは、「直売所の野菜は、新鮮で中身がしっかり詰まっています。新鮮な野菜をジュースにして飲んでいるんですよ。おいしいものを探して、全国の直売所を回ってみたい」と話しました。イベント

どうして10月2日?

「採れ(10)たてに(2)会おう」の語呂合わせ

採れたてで新鮮な農畜産物がたくさん並ぶのは、直売所ならではの魅力です。

「JAファーマーズマーケット憲章」の制定日

2003年10月2日、地域の地産地消の中心であるJAの直売所(JAファーマーズマーケット)から、国産・地元産野菜をもっと食べてもらうための活動を始めようと、同憲章が制定されました。



加瀬清志代表理事から記念日登録証を受け取る須藤正敏JA全中副会長

翌日(10月1日)には愛媛県を訪れ、直売所の魅力をPRするイベントに参加しました。現役引退後、趣味で畑を借りて野菜作りに熱中しているという元サッカー日本代表の北澤さん。作った野菜を直売所に出荷してみようかと考えています」と、まさかの生産者への「転身宣言」が飛び出しました。

浜辺さんは、「食べることが大好きなので、鮮度が良いものがたくさんある直売所にぜひ行ってみたいです」と笑顔を浮かべました。

芸術の秋にちなみだ、「野菜川柳」の披露では、それぞれが個性豊かな川柳を披露し、会場を沸かせました。トークの間には、直売所の秋野菜を使った料理が提供され、ゲストの皆さんは今しか味わえない秋の味覚を堪能し、大満足でした。

キャンペーンを展開

JAグループでは、今回のイベント以外にも、「直売所(ファーマーズマーケット)の日」に合わせてJAファーマーズマーケットの利用者に国産米や国産の黒毛和牛が当たるキャンペーンなどを実施。組合員や地域の皆さまに気軽に足を運んでもらう企画を用意しています。

JAグループが一丸となって直売所を盛り上げていきます!



記念日を起点として
 JAファーマーズマーケットを活性化
 全国農業協同組合中央会
 副会長 須藤正敏

このたび、生産者と消費者の交流や地産地消などの拠点となっている農産物直売所をより盛り上げていきたいという願いを込め、10月2日を「直売所(ファーマーズマーケット)の日」として、記念日登録を行いました。記念日の制定にあわせ、全国のJAファーマーズマーケットで「JAファーマーズマーケットに行こう!」というキャンペーンを展開し、お買物物をされた方に抽選で国産農畜産物が当たるプレゼントキャンペーンを展開しています(このキャンペーンへの参加店舗は、JAグループのウェブサイトを確認することができます)。

また、「直売所(ファーマーズマーケット)の日」関係のさまざまな取り組みを、JAグループ各組織でお互いに連携しながら行っています。この機会にぜひ、お住まいの近くや、旅行先などでJAファーマーズマーケットへ足を運んでいただき、多くの「採れ(10)たてに(2)」会っていただければ幸いです。

品ぞろえ提案や教育研修で支援

山崎周二
 全国農業協同組合連合会
 代表理事専務



JA全農では、直売所支援のため、①エコープマーク品など関連商材の品ぞろえ提案、②ベカリーションショップやコンビニなどの導入提案、③農協流通研究所と連携した教育研修などを実施しています。

また、Aコープ店舗を組合員の「くらしの拠点」としてだけでなく、「国産農畜産物の販売拠点」として位置づけ、直売所を併設した大型店舗(ファーマーズ型店舗)の出店もすすめています。どうぞ皆さんご利用ください。

機能強化や利便性 積立金で後押し

村山美彦
 全国共済農業協同組合連合会
 代表理事専務



JA共済は、2016年度に地域農業の活性化、生産者の所得向上等を目的に創設した「地域・農業活性化積立金」を活用し、直売所の機能強化やイベント開催、生産者・利用者の利便性の向上等に向けたJAの取り組みに対して支援しています。

直売所を通じて全国各地のJAの旬の国産食材の魅力やおいしさに出会っていただき、そしてさらにJAを身近に感じていただければ幸いです。

カードの5%割引や全国キャラバン展開

後藤彰三
 農林中央金庫
 代表理事専務



JAバンクでは、中期戦略において、「食と農、地域社会へ貢献すること」により、地域で「層必要」とされる存在」となることを目指しており、良質で高度な金融サービスの提供に努めてきております。このなかで、全国800以上の直売所においてJAカードのご利用で買い物金額から5%を割引するサービスのご提供や、全国の直売所を巡り、地元産の旬の農畜産物を紹介するJA直売所キャラバンなどを実施しております。

今後も、直売所を農業と地域・利用者がふれあう場として、応援してまいります。

